

令和6年度 玉垣小学校 第5回学校運営協議会 実施報告

1 日 時 令和7年1月30日(木)16:00～

2 場 所 玉垣小学校 図書室

3 学校長から

- ・ 2学期末に学級閉鎖が2クラスあったが、3学期はこれまで大きな流行はなく、運動場を元気に走り回る姿がある。

(○:委員の発言、質問、感想等 ●:学校からの説明、回答等)

4 学校保健委員会～別冊資料～

(1) 養護教諭から

- ① 定期健康診断 ② 保健室来室状況 ③ 出席停止状況 ④ 児童保健委員会の活動
- ⑤ スポーツ振興センター災害発生状況 ⑥ 環境衛生検査

- 保健指導として、1学期は熱中症、2学期は冬の感染症対策について行った。
- 視力は全国平均を下回った。視力が下がった児童に家での過ごし方を聞くと、ゲームやスマートフォンを使う時間が多い傾向があった。

(2) 栄養教諭から

- ① 給食の残食量 ② 食に関する授業 ③ 食物アレルギー対応除去食

- 苦手な献立、切り干し大根、おからや野菜、海藻類は食べる頻度を上げたい。
- 地元の食材を使っている割合はどうか。
- 時期にもよるが、市産、県産では30%、できるだけ地元のものを発注している。
児童も「地元」という点に興味を示す。
調理をする上では形が一定のものがまとまった数必要で、ある程度の流通量が必要。
野菜価格の高騰で、実際これまでの1.5倍以上になっており、量と栄養を保つことが課題。
給食センターの学校もあり、代替の野菜を検討するにも玉垣小だけで進める訳にもいかない。

(3) 学校医・学校歯科医・薬剤師 から

- 今の子どもの傾向として、虫歯がゼロか全部かにはっきり分かれる。
虫歯は糖分だけが原因ではなく、酸も歯を溶かす。子どもたちは特にグミが好きで、口の中を5分～10分でも酸っぱい状態を続けるのは危険。口をすすぐだけでも良い。
子どもも歯間ブラシをすると良い。
- コロナ禍ではインフルエンザは流行しなかった。マスク、手洗いに一定の効果があった。
CO₂検査は高めの値だった、換気をまめにすることも大切。
- 夏場、熱中症はどのような様子だったか。
- 学校から病院へ搬送するような重傷者はいなかった。教室や体育館はエアコンの効果も大きいと思う。登校してきた直後、体調不良を訴える子も少しいた。

5 学校関係者評価について等(別紙)

- いただいたご意見から学校で改善点を考え、次回の学校運営協議会でお伝えする。
- 「子どもたちの教育の充実のために」について
学校本来の仕事ではない部分も対応はしているが、例えば不審者情報は学校より先に警察に知らせるように。
- スマートフォンを持つ子どももいるが、「NTT 未払い」「画像を送れ」等、詐欺や怪しいメッセージが来る。

6 意見交換

- 小学校周辺に防犯カメラはあるか。
- 学校にはない。
- 郵便局沿いの道、交差点にある。通学路にはあってもよいかも。人間の目だけでは管理しきれない。ドライバーへの啓発にも。
- 安塚団地東側は、市の補助が2分の1。自治会でも、防犯カメラはプライバシーの侵害になるのでは、という意見もある。
- ラインのトラブルはあるか。
- ある。
- 国道、道路拡幅工事をしている。歩道はあるが車が渋滞している中を歩いてくる。
- 学校でもいじめゼロを目指す、大事なことは、あった場合には早く発見し、すぐに対応する。小学校でも教室に入りづらい場合、ほっとルームで対応している。

7 教育委員会から

- ・ 学校運営協議会の中で学校保健委員会を行っているのは、鈴鹿市として学力も大事だが、健康も大事である、という思いから。
- ・ 学校関係者評価について、数字(指標)も一つの目安となる。
- ・ 評価表について、わかりやすくなっている。用語もわかりやすく記載したい。
- ・

次回 令和7年2月27日(木)16時～ 玉垣小学校 図書室